

ウクライナ企画展

見る、体感する

写真と映像で見る ウクライナ

2025 年
3 月 1 日 土 13:00~17:00 ▶ **2 日** 日 10:00~17:00
新都市プラザ (そごう横浜店地下 2 階正面入口前)

戦禍を体感する
デジタルアーカイブによる映像展示

協力：東京大学大学院 渡邊英徳研究室



先端技術を活用した「ウクライナ 3D マップ」により、軍事侵攻を受けたウクライナ現地の被害を再現

3/2(日)

11:30~
13:30

ワークショップ開催

開発者の渡邊英徳教授による、デジタルコンテンツの解説・VR コンテンツ体験

写真は語る ウクライナの現実
ウクライナ写真パネル展示

協力：駐日ウクライナ大使館ほか



破壊された家、焼け焦げた車など、軍事侵攻の恐怖に晒されているウクライナ現地を写真を通して知る

主催：神奈川県

共催：駐日ウクライナ大使館

ウクライナ文化センター UKRAINE HOUSE JAPAN

協力：東京大学大学院 渡邊英徳研究室

UNHCR 駐日事務所 国連 UNHCR 協会

NPO 法人 アルペなんみんセンター

2022年に始まったロシアによるウクライナへの軍事侵攻から、まもなく3年。

しかし、残念ながら今もなお軍事侵攻は続いています。

こうした状況から、神奈川県としては、ウクライナへの支援の輪を広げていきたく、今回の企画展を開催しました。

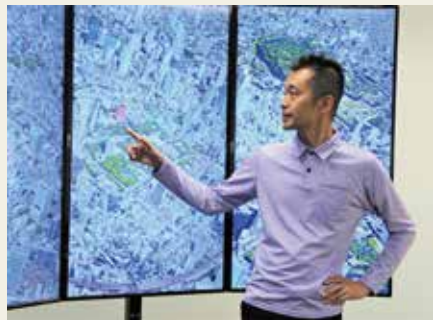
写真と映像を通して、戦火に晒されているウクライナの現状を知っていただき、戦争の悲惨さや平和の尊さを考える機会にしていいただければ幸いです。

ー ウクライナ企画展 ー

写真と映像で見るウクライナ

デジタルアーカイブ展示

東京大学大学院の渡邊英徳教授の研究室に協力いただき、デジタル技術を駆使した3Dコンテンツの展示を実施



渡邊英徳研究室

VR・人工知能(AI)などの先端技術を取り入れ、戦争や災害など、「災いの記憶」をデジタルアーカイブ化して次世代の人々に受け継いでいく活動を展開

写真パネル展示

ウクライナ現地の戦禍や、日本で暮らす避難民の様子を伝える写真を展示



神奈川県とウクライナの関係

ウクライナ・オデーサ州とは、1986(昭和61)年10月、「友好交流の発展に関する共同声明」に調印を行い、これまで友好関係を築いています。

日時：3/1(土)13:00～17:00

3/2(日)10:00～17:00

場所：横浜市西区高島 2-18-1

新都市プラザ

(そごう横浜店地下2階正面入口前)

モニター上映

ウクライナ 首都キーウの今 2024 など



ジェットロ制作番組
「世界は今」ETRO Global Eye

「モタンカ」展示

持ち主を災いから守り、幸せを呼び込むとされるウクライナの伝統人形「モタンカ」を展示



難民ものがたり展 ーウクライナー

ウクライナ避難民に関するものなど、難民をテーマにした本を展示